

## 近所で、学校で、職場で、 「いろんな国の 人に出会える」まち。

住民の5人に1人が外国籍の生野区。その国籍は約60カ国にのぼります。そのうち8割近くが韓国・朝鮮の方で、長い歴史を重ね、共に暮らしてきました。近年では就労や留学などで中国、ベトナム、ネパール、インドネシアなど、たくさんの外国籍の方が住むようになりました。

一人ひとりの人間として、同じまちに暮らす人として、尊重し合い、その人の背景にある文化、言語、大事にしているもの、お互いに学び、豊かな関係性を築いていきませんか。



この取組はSDGsにつながっています

- 人や国の不平等をなくそう
- 住み続けられるまちづくりを
- 平和と公正をすべての人に
- パートナリシップで目標を達成しよう

このページに関するお問合せ  
 区企画総務課 4階45番  
 ☎06-6715-9683  
 FAX06-6717-1160

### “情報を届ける工夫”しています

#### 10言語でデジタル版広報紙が読めます

アプリ「カタログポケット」を使って毎月配信中。

#### あふれる情報からピックアップして「やさしい日本語」で情報を配信

やさしい日本語からアプリで9言語に翻訳してお届け中。



アプリはこちら▶

### “同じまちに暮らす人”紹介します

2018年5月から2021年3月まで、20カ国32人の方からお話をお聞きして広報紙の連載でご紹介しました。様々な国の様々な文化を垣間見ることによって新たな学び、つながりのきっかけとなりますように。連載記事をまとめたデジタルブックもあります。

デジタルブックはこちら▶▶▶▶▶



### “やさしい日本語”からつながろう

災害時だけでなく日常の中で「やさしい日本語」を使って、そこから始まる新たなコミュニティづくり、「やさしい日本語」から、まちの人たちのつながりの輪を広げる取り組みです。「やさしい日本語」の「やさしい」は、単純でわかりやすい「易しい」であると同時に、相手に合わせた「優しい」気持ちの意味があります。「やさしい日本語」に正解はありません。相手にあわせて優しい気持ちで「やさしい日本語」を話してみませんか？



やさしい日本語の取り組みはこちら▶

### 区内の学校での出前講座

区内の小中学校、高校では、探求の授業、総合学習、グローバル授業などで多文化共生についても様々な取組をされています。そこで区役所から出向き、生野区の現状や多文化共生の取り組みについてお話をしています。授業の中では実際に「やさしい日本語」の言い換えや会話を体験して、ほんの少しの工夫で相手に伝わることばになることを感じてもらっています。



### これからにつながる“出来事”おさらい

#### 2018.4 日日本語学園と連携協定を結んでいます

区役所から発信する情報の翻訳ボランティアや、区内で開催されるイベントへ、先生をはじめ、多くの留学生さんに文化紹介など協力をいただいています。

#### 2018.12 Tatami Talk (タタミトーク)を開催しました



「話して、食べて、つながって」をテーマにさまざまな国の文化に触れて、楽しむイベントを開催。外国籍の方をはじめ、日本の方もたくさん参加していただき、会場では、「やさしい日本語」をきっかけに参加者同士の交流は大いに盛り上がりしました。

また各国の料理や、舞台発表、音楽セッションなどもあり、異文化を体験していただきました。

当日の様子は  
こちら▶

#### 2019.10 生野まつりで多文化カフェを開催しました

お茶を飲みながら、むずかしく考えず、楽しみながら「話して、お茶して、つながって」。実際に「やさしい日本語」を使っていろんな国の人との会話をしてみようという試みです。区役所と、ロート製薬株式会社の社内有志「いくP」メンバー、IKUNO・多文化ふらっとのみなさんと一緒に運営して、たくさんの方に参加していただきました。



当日の様子は  
こちら▶

#### 2020.6 大学生が作った「やさしい日本語ポスター」が市内地下鉄22駅に貼られました

大阪市・大阪芸術大学・近畿大学の三者による「大学連携ポスタープロジェクト」として「やさしい日本語」のポスターが誕生しました。「やさしい日本語」を初めて知ったという学生のみなさんでしたが、日本語が得意でない人の気持ちを想像しながら、学生ならではの感性を活かし、素敵なポスターを作ってくれました。

詳細はこちら▶

#### 2021.12 NPO法人IKUNO・多文化ふらっとと連携協定を結んでいます

区政の3本柱の1つに多文化共生を掲げ、官民地域と連携して進めています。

#### 2022.10 いくの多文化クロッシングフェス2022 / いくの万国夜市が開催されました

御幸森小学校跡地活用事業による「いくのコーライブズパーク」のプレオープンイベントとして、「グローバルタウン“いくの”で出会う食と学びのフェスティバル」、「胃袋で始める異文化交流」をテーマに約4,000人の方々が集まりました。国籍や年齢、ジェンダーなどのさまざまな「違い」をまたいで、多くの人との出会いや再会、交流があり、たくさんの笑顔があふれる一日となりました。



当日の様子は  
こちら▶

